

2024 年新年会のご報告

総務担当理事: 多田博子

2024 年 1 月 18 日、ワシントン日本商工会新年会が開催されました。会場となった University Club of Washington には法人・個人会員計 87 名に加え、山田駐米日本大使以下大使館の方々 13 名にご参加いただき、事務局等合わせ総勢 103 名が参加した盛況の会となりました。

新年会では、山田大使の冒頭スピーチ、吉村会長の挨拶、相次席公使の乾杯ご発声に続き、バイオリンによる日米国歌演奏を参加者の皆様にお楽しみ頂きました。バイオリンの余韻に包まれながら、その後野村公使、藤澤公使、廣光公使、石垣公使を含む大使館来賓各位のご紹介。各テーブルネットワーキングに花が咲いていました。

新年会最大のイベントは読売新聞アメリカ総局長 今井隆様による「2024 年大統領選。分断と民主主義の行方」です。ワシントン駐在 2 回目の今井総局長は、最初の駐在であった 2016 年大統領選挙時、当時泡沫候補であったトランプ氏の出馬表明について記事を書かれています。時は巡り再びトランプ氏の大統領選を垣間見る今井氏による講演は、現場でしか知り得ない内容が満載のジャーナリスト魂が込められた素晴らしいもので、現在のトランプ氏の勢いの根底にある米国内の根深い様々な問題を改めて考えさせられる機会ともなりました。質疑応答についても、自分の言葉で一つ一つ丁寧に回答され、まさに「分断と民主主義」が試される米国の 2024 年、我々一人一人が歴史の生き証人となりうることを感じさせる白熱した時間となりました。

講演会終了後は退任の小暮理事への吉村会長から感謝状贈呈、角道幹事の一本締めで成功裏にお開きとなりました。揺れる米国において、ワシントン日本人コミュニティの団結の重要性を改めて感じさせる新年会となり、吉村会長以下、日米関係深化への貢献、会員相互の交流の促進につき商工会理事一丸となって取り組む決意を新たにしました。本年も商工会活動へのご支援を宜しくお願い致します。



山田駐米日本大使による冒頭スピーチ



吉村商工会会長ご挨拶



三菱商事 日置様によるバイオリンでの日米国歌演奏



読売新聞 今井アメリカ総局長による講義